



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

# 学校報 梵天

E-mail [ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp](mailto:ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp)  
<http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html>

由利本荘市立大内小学校 校長室から  
令和2年6月 11日 No. 5

## 『勉強の木』を育てる

6月2日はなかよし班（縦割りグループ）でスマイル広場の花壇に花の苗を植えました。その後、1、2年生が畑に野菜を植えたり、3年生が大豆を植えたりしました。また、17日には「さつきプロジェクト」として4年生がさつきの木の苗を植える予定になっています。これらの植物がこの後、スマイル広場を彩ってくれるものと期待しております。

さて、雨の季節となるこの時季は、紫陽花や藤の花など紫色の花に触れることの多い季節です。絵の具の青（春）と赤（夏）を混ぜ合わせると紫色になることを考えると、6月にふさわしい絶妙な配色に思えてきます。自然の不思議さを感じます。紫色は高貴な色ですが、人を物思いに誘う色でもあります。

紫の季節は、梅雨の空模様と相まって、子どもたちを物思いに沈ませる季節です。蒸し蒸しとうっとおいしい梅雨空の下、気分も沈みがちな子どもたちを勉強で元気にしたいと思います。

子どもたちはきっと、勉強で頑張りたい、教わったことが分かるようになりたいと思っています。そして、わかったときの、できたときの、心が踊るような喜びや自分もやればできるんだという嬉しさをこれまでも持っているはず。その喜びや嬉しさが、2倍、3倍と膨らむことで沈みがちなこの時季を乗り越えていってほしいと思います。

みんなで『勉強の木』を育てましょう！『勉強の木』は葉・幹・根の3つから成ります。「葉」にあたる”わかる・できる”、「幹」となる”考える・表す”、「根」にあたる”やってみたい・できるようにになりたい”の3つです。

生い茂る葉、すくっと伸びる幹、大地をとらえる根をイメージしてみましょう。1枚1枚の”わかる・できる”の「葉」が集まって茂り、降り注ぐ太陽の光を受け取り、成長に欠かせない栄養分を作り出します。大地に食い込む”やってみたい・できるようにになりたい”の「根」は、自分の体を支えるとともに、成長に必要な地中の水分、養分を絶え間なく吸収します。この「葉」と「根」をつなぐ、”考える・表す”の「幹」や「枝」は思考力や判断力、表現力であり、太く育つ幹や枝は、学校で学ぶ知識や技能を自分の生活と関連させ、さらに深い思考力、確かな判断力、豊かな表現力となって真に「考える力」に育っていきます。

こうした子どもたちに育つことを願って学校教育目標「自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成」があります。

また、樹木には、十分な太陽の光や豊かな土壌、適度な温度、たっぷりの水分が必要です。『勉強の木』とて自分の力だけで育つものではなく、環境が大きな影響を与えます。太陽の光、豊かな土壌、適度な温度、たっぷりの水分には、教師や保護者の指導や支援、働きかけなどが当てはまります。芽生えたばかりの若い苗木です。適度なバランスのとれた指導・支援・働きかけが必要でしょう。

さらに、『勉強の木』は森や林、つまり集団の中で育てた方が良い育ちを見せるでしょう。学級や縦割りグループなどの人間関係の中で助け合い、支え合い、適切な競争や切磋琢磨を通じて、丈夫な木々が育つものと考えます。仲間がともに育ち、伸びていくような環境(集団)づくりも大切なものと考えています。



校長 東海林 慶孝

# 6月の行事

\*6月の半ばを過ぎた頃に行事予定を示すことになって申し訳ありません。基本的には月末に発行する学校報で翌月の行事をお知らせいたします。

- 16日(火) P T A臨時役員会17:30～
- 18日(木) さつきプロジェクト(4年生)
- 19日(金) 由利出張所長訪問
- 24日(水) 大内地区学校運営協議会17:30～  
小中合同挨拶運動
- 26日(金) プール清掃
- 7/1(水) P T A授業参観日
- 2日(木) 由利本荘市教育委員訪問



## 1期 集団の一員としての自覚

本校では、1年を4期に分けて各期別の経営目標を定めて、教育活動を推進し、子どもたちの指導・支援にあたることとしています。1期(4～6月)は「集団の一員としての自覚を高めよう」という目標です。

4月のスタートダッシュができず、時間的には不足気味ですが、新年度のスタートにあたり、基本的な学習習慣や勉強の仕方、生活習慣などを身に付け、新しい学年の学習や生活の基盤づくりをする期間です。

3年生は社会科、理科が始まり、4年生はクラブや委員会活動に初めて参加します。5・6年生は児童会活動をはじめ学校生活全体のリーダーとなります。

「早寝 早起き 朝ご飯」「元気なあいさつ 明るい返事」はできていますか?決まった時刻に自分から家庭学習に向かっていますか?翌日の学習準備や忘れ物は大丈夫ですか?みんなと仲良くしていますか?・・・1期の終わりの月です。

## コロナ対策

秋田県では1ヶ月以上コロナウィルス感染の報告がないことから、少し安心していますが、世界では感染の第2波が起こったり、益々感染者が増加傾向にあたりで予断を許しません。

コロナウィルスとは共存しなくてはならないという報道もあります。

秋田県にウィルスを持ち込まない、持ち込ませないためには、県をまたぐ往来は、やはりできるだけ自粛しなくてはならないのだと思います。各ご家庭の協力をお願いいたします。

## 今年の主な学校行事について

コロナウィルス感染対策から大幅に計画が変更になっている今年の主な学校行事について、P T Aの役員のみなさんに説明し、ご意見を頂戴する「臨時役員会」を16日(火)に開きます。

運動会、修学旅行、学習発表会などについて話し合う予定です。

## 余録

毎日新聞の「日本一眠る秋田 全国唯一の8時間超 高齢社会で早寝早起き 通勤時間も影響か」という記事が目にとまり読んでみると次のようなことが書かれていました。

総務省統計局が5年ごとに行っている「社会生活基本調査」の最新版(2016年)では、「睡眠時間たっぷり!?ランキング」で秋田県が1位。47都道府県で唯一、8時間超えとなっている。(略)

1日あたりの睡眠時間の全国平均は7時間40分。一方で秋田県が8時間2分と、平均よりも22分長い。最下位の埼玉県(7時間31分)と比べると、30分以上多く眠っている。(略)

(理由について)

- 1 全国屈指の高齢社会であることが、主な要因と考えられる。「高齢社会白書」によると18年現在の秋田県の高齢化率は36.4%。全国1位で、唯一の30%後半となった。このことから仕事を引退したお年寄りが多いと、睡眠に充てる時間を確保できる人が多くなるという見方ができる。
- 2 「通勤・通学時間が長い!?ランキング」で秋田県は下から2番目の全国43位タイ(時間が短いということ)で、このランキングトップ3の神奈川、千葉、埼玉(通勤時間などが長い)は「睡眠時間ランキング」ではワースト3である。このことから、通勤・通学時間が長いと睡眠時間を削らざるを得ないとも考えることもできる。

その他、「夜更かし!?ランキング」で秋田県民は最下位(午後10時33分)。日本一寝床につくのが早いとされている。長い睡眠は健康に好影響をもたらすようなものだが、秋田県民の平均寿命は男性ワースト2位、女性ワースト4位である。「秋田の人はお酒好きだから、早く寝る前にたっぷり飲んでバタンキューの人も結構いるのかな」・・・と結んでいました。皆さんはどう感じられたのでしょうか?